【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2008-148854(P2008-148854A)
【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)
【年通号数】公開・登録公報2008-026
【出願番号】特願2006-338669(P2006-338669)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月2日(2009.12.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球が流下する遊技領域が前面に形成された遊技盤と、
前記遊技領域に入賞口を形成するように前記遊技盤に配置された入賞装置と、
前記入賞装置を制御する制御基板が収容された基板ユニットと、
前記基板ユニット及び前記入賞装置の配線を中継する中継基板と、
前記中継基板が取付けられる取付部を有する台座と、
を備えた遊技機であって、
前記中継基板が取付けられた前記台座の交換を許容しつつ、前記遊技盤裏面側の構成配置を変化させずに不正基板などが配設される行為を抑制することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
遊技球が流下する遊技領域が前面に形成された遊技盤と、
前記遊技領域に入賞口を形成するように前記遊技盤に配置された入賞装置と、
前記入賞装置を制御する制御基板が収容された基板ユニットと、
前記基板ユニット及び前記入賞装置の配線を中継する中継基板と、
前記中継基板が取付けられる取付部を有する台座と、
前記台座の周囲を囲いつつ、前記遊技盤及び前記基板ユニットの間の空間を区画するスペーサと、
を備えた遊技機であって、
前記中継基板は、封止部材によって前記取付部に固定されることで封止状態とされ、封止された状態の前記中継基板及び前記取付部に対して所定の封止解除操作をするとその解除痕跡が残るように構成され、
前記台座は、前記遊技盤側に対し着脱可能に取付けられていることを特徴とする遊技機。
【請求項３】
前記取付部が、前記中継基板の外側面に沿って該中継基板を囲う壁体を有する請求項１又は２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記取付部が矩形状の上面開口の箱状体に形成され、該箱状体の長辺側の二つの壁体の

少なくとも一つの位置に、前記中継基板の表面を抑える押さえ部が内側に向けて延設され、且つ、少なくとも一つの該押さえ部に対応する位置の中継基板にコネクタが近接して配置されている請求項１、２又は３に記載の遊技機。

【請求項５】

前記取付部を遊技盤に対して、一旦封止が行われた後は解除痕跡を残すことなく封止解除が不能な封止部材により封止してある請求項１～４のいずれか一項に記載の遊技機。